



100万人目の来店者に
花束を渡す芦田会長

勝北マルシェ ほほえみ彩菜

☎29-1123

営業時間 午前8時30分～午後6時(年末年始は休み)

ところ 杉宮736-3

来店者数100万人達成 勝北マルシェ ほほえみ彩菜

勝北地域の農家で組織する「青空部会」が始めた直売所が前身。平成27年に「勝北マルシェ ほほえみ彩菜」として現在の建物で開業し、今年6月に来店者数100万人を達成しました。他の直売所とは少し違うという店の特徴や新たな試みを、店長の内藤晃彦さんに聞きました。

毎日の食卓に「ほほえみ」の野菜を

例えば、ホウレンソウといったも、直売所では質、値段、品種などさまざまです。同じ野菜でも、気に入ったものを納得して購入できるのが直売所の魅力の一つです。表示している生産者の名前を選ぶお客さんもいます。

ほほえみ彩菜は「野菜なら何でもある店」を目指し、地域の生産者が作った新鮮な農産物はもちろん、モヤシなど地域で生産されていない野菜で要望が多いものは仕入れ、品揃えを充実させています。直売所という野菜や花のイメージが強いですが、砂糖、醤油といった調味料や菓子、ちよつとした日用品なども置いてあります。

お客さんの使いやすさを重視し、日々の買い物物がほほえみ彩菜の1カ所で済むよう工夫しています。感謝の気持ちを込めて行う毎週金曜日のほほえみの日の特売、月1回の肉の日や魚の日、年4回のイベントも人気です。

また、子どもたちに、地域のおいしい野菜を食べてもらいたいと、勝北風の子ども園に給食用の野菜を卸しています。

「ほほえみ」ならではの商品作り

「ほほえみ」ならではの特色が

あるものを作りたいと、年2回開催する講習会で、生産者に新しい品種の種を配布して作ってもらい、お客さんの反応を見えています。

今年6月には、店の名前と同じ「ほほえみ」というキャベツの販売を始めました。葉が柔らかく、炒めても水っぽくならないと好評で、今後、店の看板野菜になってほしいと思っています。来シーズンの販売を楽しみにしてください。

秋以降、サラダ用の春菊や、つばみをおひたしにするとおいしい、菜の花とアスパラガスを掛け合わせたアスパラチエという品種の野菜を新しく販売する予定です。

店内にある野菜の調理方法に悩むときは、レシピを配布しているのを参考にしてください。また、従業員にも気軽に尋ねてください。

新鮮で安全・安心・安価なものを

百万人達成の日、青空部会・芦田昭雄会長の皆さんへのメッセージに、ほほえみ彩菜の一番のこだわりがこもっています。

「地域の皆さんに新鮮で、安全・安心・安価なものを提供すること」を一番大切にしています。

皆さんに喜んでもらえるよう、良いものを作っていくので、今後多くさん利用してください。」

つぎ やき 編集室

カメラを購入したら撮りたいと思っていた星の軌跡の写真。試しに自宅のベランダで撮影してみました。数秒おきにシャッターを切るよう設定し待つこと約2時間。画像を合成し軌跡が伸びると、肉眼では見づらい小さな星がはっきりと分かり、こんなに星が見えていたんだと、新しい発見ができました。(☆)

プログラミングソフトを使ってイラストを動かす小学校の授業を取材しました。子どもたちは、基本の操作をあとという間に習得。上下の位置が少しずつずれた横に並ぶ4つのウサギのイラストが画面の上に向かって進むプログラムを組んで「かけっこ」と名付けるなど、発想の豊かさに驚かされました。(♡)

11ページのツキノワグマの記事を見て、少しクマの生態を調べました。驚いたのは人よりも早く走ること、時速40km以上で動くことができるそうです。6月には、自宅から10km離れた場所で見つけられ、クマを見掛ける日もそう遠くはない気がしています。記事をよく読んで対策したいと思っています。(三)

